

○「柏（カシワ）」の木について

北見柏陽高校の校名に入っている「柏」（カシワ）の木は、校地内に何本あるでしょうか？

国道側に並んでいる幹の白い木は「白樺」ですので間違えないでくださいね。

右の写真中央にある枯れ葉が残っているのが「柏」です。

丸いどんぐりの実をつけるカシワ（柏・榲）の木は、クヌギやコナラと同じブナ科の樹木で、秋に色づく落葉広葉樹です。冬になっても枯れた葉を落とさず新芽がでるまで葉を残す特性を持っています。春まで葉を残す性質のことを「枯凋性（こちようせい）」といい、枯凋性は動物たちの食害から、枝や新芽を守る効果もあります。葉を残す特性は縁起や伝承の元になっていて、枯れた葉をつけたまま越冬し、春に新葉と入れ替わることから、「葉（覇）を譲る」、絶えず世代を継いでいく「家運隆盛」を象徴する樹木とされています。また、一年中葉をつけたままの姿が「葉を守っている」ようにみられ、「葉守りの神」が宿るといふ言い伝えもあって、古い葉と新しい葉が絶え間なく入れ替わることから「葉を譲る木」として「ユズリハ」ともよばれています。（「ゆずりは」という名のユキノシタ目の植物もあります。）



英名は「Daimyo oak」（ダイミョウ オーク）や、「Japanese emperor oak」（ジャパニーズ インパー オーク）といい、カシワの木はオーク材として建築や家具材に使われています。日本、台湾、朝鮮半島、中国などが原産地であるカシワは、寒暖の差がある場所でも成長できる丈夫な樹木で、その丈夫さから、北海道では家屋や農地を守る防風林として植樹されてきました。幹はコルク質で耐火力があるため、山火事になっても生き残るカシワがあるそうです。これもカシワの縁起の良さを語るのに一役買っていて、「三つ柏紋」は日本の十大家紋の一つで土佐藩主山内家などの家紋としても有名です。土佐藩は今の高知県ですね。高知市は北見市と姉妹都市でもあり、何か私たちとご縁を感じるものがあります。（姉妹都市の新聞局の取材、素晴らしかったです。）

樹皮にはタンニンを多量に含み、かつては皮なめしや漁網の染料に使われてきました。カシワは葉にもタンニンが含まれ、葉を利用したカシワ茶には抗酸化作用があり、香りがよく、渋みが少ないのが特徴だそうです。（タンニン：ポリフェノールの一種で、渋みのある成分。カテキン等が多数重合したもの）

○北見柏陽高校は大正12年（1923年）に設立し、今年で97年目を迎えました。この柏陽町に移転してきたのは、昭和32年（1957年）です。移転した時の住所は小泉567番地で、柏陽高校が移転してから柏陽町567番地となりました。移転当初の校舎前庭は何もなく少しずつ整備されていったのですが、その際に植えられたのが校名にある「柏の木」です。校長室前の廊下掲示板に創立当時から現在までの校舎の変遷を張り出しています。見てみてください。

○3年次71期生諸君、いよいよ卒業まで残り3ヶ月ですね。これまでに進路決定した皆さん、頑張りましたね。おめでとう！4月までにそれぞれの進路先への準備を怠ることなく、精進してください。

これから進路に向けてさらなる試練に立ち向かう皆さん。この冬休みが勝負です！

いよいよ全国との勝負です。柏陽生の粘り、底力をみせてください。全力で応援しています。

2年次72期生、1年次73期生諸君、先輩達の頑張りに対して、絶大なエールをください。そして自分達の新しい生活様式を実践し、このコロナ禍で受験に挑んでいる先輩達を支えてください。

いつもどおりの学校行事が出来ない年でしたが、「柏の木」「ユズリハ」のように先輩から後輩へ、そのスピリットは良き伝統として継承されると信じています。全員で全員を応援できる素晴らしい柏陽生が、今ここで学んでいる諸君です。私は卒業生の一人として、皆さんを誇りに思います。

We are HAKUYO !

「夢はあなたを捨てない あなたが夢を捨てない限り！」

新しい年、令和3年（2021年）1月18日（月）、元気に会いましょう。